



高専通信

2014/12

Vol. 12

National Institute of Technology, Toyama College



CONTENTS

- 02 富山高専ヘッドライン
「商船学科卒業証書・海事システム工学専攻修了証書授与式」
- 04 教務主事からのメッセージ
- 05 合同球技大会
- 06 各種クラブ活動
- 08 高専ロボコン(アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014)
- 10 専攻科レポート
- 12 県外工場見学・流通見学(4年生)
- 14 県内工場見学(3年生)・研修旅行(2年生)
- 15 News&Topics
- 16 平成27年度入試情報／学生相談室からのお知らせ



平成26年度

**商船学科
卒業証書**

**海事システム工学専攻
修了証書**

授 与 式

これまで支えてきてくれた方々への感謝を胸に、 卒業生・修了生の新たな船出



商船学科での思い出

実習生

沢田 耀一郎

今から5年半前の4月、私は富山商船高専最後の学生として入学しました。私をはじめ、一部の学生は初めての寮生活ということもあり、不安と期待を感じていたことも懐かしい思い出です。その後、学業はもちろん、部活動や学生会、学寮会、カッターレースなどのイベントを通じて、様々な経験と成長を得られました。これは、担任の千葉教官、笹谷教官をはじめとする教官方、両親の支えがあってこそだと、卒業した今、改めて感じています。過ぎてみれば早かった5年半の日々でしたが、本当に充実した日々でした。今後は富山高専で学んだことを活かし、努力を忘れず、立派な社会人になるつもりです。



高専で学んだ7年半

海事システム工学専攻2年

川崎 雄飛

富山高専で思い出に残っていることは、カッターレース大会、北斗祭などの学校行事です。これらに関しては、学生間での長期間の話し合いにより意見を交換し合いながら全力で取り組んだ思い出が多く、今後忘れることはないでしょう。また、本科での長期乗船実習では、初めは慣れない生活スタイルのため不安が大きかったものの、学生全員で協力しながら様々な困難を乗り越え、終了することができたので、その達成感は今でも鮮明に覚えています。専攻科での研究生生活を乗り越えることができたのも、実習での経験が自分の力になっていると思います。在校の皆様も、それぞれの目標に向かい、今後の学生生活を、明るく、楽しく、そして努力を忘れず送っていきましょう。



平成26年9月24日(水)、富山高等専門学校卒業証書・修了証書授与式が射水キャンパス第2体育館で挙行されました。平成21年4月、旧富山商船高等専門学校の最後の学生として入学した商船学科の学生は、4年半の席上課程と、第4学年後期からの1年間にわたる大型練習船長期乗船実習を修了しました。これにより、本校の本科すべての課程を修了した航海コース13名、機関コース20名の計33名に卒業証書が授与されました。また、本科卒業後の2年間、特別研究等の座学を修了した海事システム工学専攻3名には、修了証書が授与されました。

白い制服を身にまとった本科生、スーツ姿の専攻科生に、石原校長が卒業証書・修了証書を手渡し、これまで支えてきた人への感謝を忘れないこと、今後の人との出会いを大切にすること、本校で学んだ様々な学習内容、体験を社会という大海原で存分に発揮することなどの告辞を述べられました。在校生代表の五百崎太郎さん(電子情報工学科4年)からの送辞を受け、卒業生・修了生代表の金場大輔さんが、本校で多くを学び、経験し、大きく成長できたことに對し、これまで支えてくれた方への感謝の気持ちを答辞の言葉として述べました。最後には、卒業生が整列し、帆船出港時における見送りの方々への謝礼を意味し、最高の礼とされる答禮による伝統の挨拶で式は終了しました。



商船学科22期生 ご卒業おめでとうございます

商船学科 担任
笹谷 敬二

商船学科22期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。平成21年の春、桜咲く本校に入学され、若潮丸の船長として最初の乗船実習では、少しの揺れで船酔いになり風下側で皆さんの何人かを休ませたことが懐しく思い出されます。あの時、とてもかわいい学生さんだった皆さんが、船舶職員養成という極めて強い専門性を持つ学科において座学4年半、1年間にわたる長期乗船実習訓練を経て、卒業の時にはやんちゃ具合もとても逞しくなって卒業式に臨まれたこと、担任としてとてもうれしく思いました。明確な目的意識を持って学生生活を送られ、海陸を問わず各種の資格取得率も高く十分に社会のニーズに応えられた方が多かったと思います。就職される方、進学される方、これからはそれぞれの道を歩まれるわけですが、自分を大切に、友を大切に、家族を大切にされることが、それがひいては社会にも役立つ人になるものと確信しております。これからの皆様方の御安航を祈念いたします。UW

平成26年度卒業生・修了生

商船学科/航海コース13名、機関コース20名 専攻科(海事システム工学専攻)/3名

主な進路(五十音順)

商船学科

■就職先

出光興産(株)、インターモーダルエンジニアリング(株)、宇部興産海運(株)、川崎汽船(株)、(株)グローバル オーシャン ディベロップメント、JXオーシャン(旧 JX日鉱日石タンカー)(株)、渋谷工業(株)、(株)商船三井、シントミコーポレーション(新富観光サービス代理店)、新日本海フェリー (株)、ダイキン工業(株)、太平洋日本汽船(株) 日本海運(株)、日本海曳船(株)、日本郵船(株)、日本郵船クルーズ(株)、北陸建工(株)、北陸発電工事(株)、ヤンマーエネルギーシステム(株)、(株)ユニエックス

■進学先

神戸大学大学院海事科学研究科、富山高専専攻科海事システム工学専攻、長岡技術科学大学

海事システム工学専攻

■就職先

日本海洋掘削(株)、日本通運(株)、三徳船舶(株)

学生表彰

本校表彰規程によるもの

名称	航海コース	機関コース	海事システム工学専攻
学業優秀賞	武田 朋弥	沢田 耀一郎	濱田 健史
皆勤賞	-	青山 達人	-
精勤賞	-	藤江 教順	-
スポーツ賞	小川 紗貴	渡邊 勇太	-

学会表彰(学科から学会等に推薦するもの)

名称	航海コース	機関コース	
全日本船舶職員協会賞	水島 大和	仙城 和晃	
海技教育財団 会長賞	鶴山 達也	義岡 慧亮	
日本航海学会 奨学褒賞	齋藤 航大	-	
日本船舶海洋工学学会 奨学褒賞	土屋 秀生	青山 達人	
日本機械学会 畠山賞	-	若林 健人	
日本マリンエンジニアリング学会 山下賞	-	出村 章浩	



海事システム工学専攻 8期生の皆さん 修了おめでとうございます

海事システム工学専攻 担任
山本 桂一郎

専攻科海事システム工学専攻修了生のみなさん修了おめでとうございます。毎年のことなのですが、8月末の大学評価・学位授与機構の審査結果については、心配しつつも皆さんの日々の研究生活の努力が報われるものと信じておりました。8期生は3名のクラスでしたが、皆さんもご存知のとおり三角形はシンプルで強い形です。修了後は、それぞれが違う道を歩みます。いずれも社会基盤を支える重要な仕事です。私としても、そのような会社に皆さんが勤めることは誇りに思っています。社会人生活を送る中で、会社以外のネットワークを持つこともきわめて重要です。これからはお互いに連絡を取り合い、強い絆で結ばれてください。最後に、とにかく他人への感謝を忘れないください。他人への感謝ができる人は、その人が困難に遭遇した際に、思いもかけない人から助けってもらえる可能性があります。ぜひ実践してみてください。皆さんの活躍を期待しています。



未来の技術者たちへ

本郷キャンパス教務主事

西 敏行

「縁あって富山高専に赴任することになりました。よろしくお願いたします。」この挨拶で私の高専生活が始まりました。今から30年前、昭和60年4月、始業式の新任教員紹介でのことです。この年は、新任の校長先生、金属工学科(当時)の教授2名、そして、電気工学科(当時)の私1名の合計4名が赴任してきました。赴任当時は、今とはまったく違った時代でした。まだパソコンはそれほど普及しておらず、仕事で使う高価で特別な機械というイメージでした。携帯電話やスマートフォンもなく、インターネットやメールもちろんありませんでした。テレビは、今のような薄型テレビではなく、デジタルカメラもまだありませんでした。考えてみれば、この30年の間にずいぶん技術が進歩し、私たちの生活も変わったものだと思います。

私がこれまで高専で教えた学生は、既に1,000人を超えています。高専に赴任したときの学生は、今では40代半ばから50代になっています。もう技術者としてはベテランです。企業では20代後半から40代ぐらいの技術者が中心となって製品を開発します。ということは、私がこれまで教えた学生の中にも、この30年の間に進歩した技術、装置の開発に携わった者もいるかもしれません。もしかしたら、パソコンやスマートフォン、デジタルカメラの開発に関係していたかもしれません。私の教え子の中にもこのような開発に携わり、世の中に役立つ製品を作った者がいるかと思うと、何だかうれしくなってきます。

現在、授業で教えている学生が就職し、企業で製品開発の中心となるのは、今から10～20年後ぐらいでしょうか。その頃には、今では想像もできないような製品が世の中に出ているかもしれません。そのような製品を開発するのは、今、高専で勉強をしているみなさんです。高専に赴任してから30年間で世の中は大きく変わりました。今から30年経てば、さらに大きく変わっていることでしょう。そのような変化を生み出すのは、みなさんのような未来の技術者です。今から30年後、どのような製品、技術が開発されているのか、楽しみにしています。みなさんの活躍を期待しています。これからの日本、世界、そして地球をよろしくお願いたします。



コミュニケーション能力

射水キャンパス教務主事

新開 純子

企業が学生に求める能力の1つにコミュニケーション能力があります。最近では、ネット依存によるコミュニケーション能力の低下などが問題になっています。自分はコミュニケーション能力があると思いますかと質問されたら、あなたは何と答えますか。コミュニケーション能力とは何だと思えますかと質問されたら、あなたはどのように答えますか。

齋藤孝さんの『コミュニケーション力』(岩波新書)では、コミュニケーションは意味や感情をやりとりする行為であると書かれています。さらに、情報伝達＝コミュニケーションというわけではなく、感情を伝え合い分かち合うこともまた、コミュニケーションの重要な役割であると書かれています。つまり、コミュニケーション能力とは、自分の考え、感情、情報等を的確に相手に伝え、さらに、相手の言いたいことを的確につかむことができる能力といえます。情報を伝えることのみがコミュニケーションと思われがちですが、受けとめることも大切ということです。阿川佐和子さんの『聞く力』(文春新書)が話題になったのも、わかるような気がします。

さて、インターネットの普及に伴い、メールでの情報交換やフェイスブック、ツイッター、LINEなどのツールを活用して、不特定多数の人や仲間同士で顔を一切合わせないで交流することが可能になりました。これらのツールを使って、コミュニケーションで重視される感情を伝え合い分かち合うことができるのでしょうか。相手と直接会って会話をするのであれば、相手の相槌や反応の変化等で、次の言葉を選んだり、言い方を変えたりすることで、誤解が生じないようにすることができます。しかし、これらのツールでは、相手がどのような取り方をしたのかすぐに判断することができず、誤解を招く危険があります。伝えたい内容によって、直接会って話をするか、ツールを活用するかを使い分けることが大切になります。

便利なツールを活用するよりも、直接会って相手と会話をすることがコミュニケーション能力を高める第一歩だと思います。会話も相手への気配りが大事です。相手の立場になって話をする、さらに相手の立場になって聞くことが、話し上手、聴き上手になる近道です。

本郷キャンパス会場

4・5年、専攻科生

【競技種目】ドッチボール、ビーチボール、バスケットボール、ソフトボール



合同球技大会を終えて

本郷キャンパス体育局長
巻 大輔

今年度も本郷キャンパス、射水キャンパスの両キャンパスで合同球技大会を開催しました。本郷キャンパスでは両キャンパスの4年生から専攻科生までの学生がソフトボール、ドッチボール、ビーチボール、バスケットボールの4競技にそれぞれ参加しました。合同球技大会当日は秋晴れのよい天候となり、スポーツを行う最適な環境のなかでの球技大会となりました。ソフトボール競技の決勝戦は試合終了予定時間の時点では同点で決着がつかず、延長戦となり他の競技に出場していた学生も注目する白熱した試合となりました。競技中や競技以外の時にも両キャンパスの学生が親しげに交流している姿を目にしました。球技大会を通して少しでも交流の輪が広がっていたら嬉しく思います。今回の球技大会では射水キャンパスの商船学科の4、5年生が航海実習で参加できなかったのが心残りではありますが、参加した学生の多くが満足のいく球技大会となったと思います。

射水キャンパス会場

1～3年生

【競技種目】ドッチボール、ビーチボール、バスケットボール、ソフトボール、大なわとび



合同球技大会を終えて

射水キャンパス合同球技大会実行委員長
坂口 葵

今年の合同球技大会は、1～3年生は射水キャンパスで行いました。私は企画側にまわり、まず、何をしなければいけないのか、どうしたら楽しんでもらえるのか、やる事、考える事が山積みで、どうしたらいいかわからないことがたくさんありました。同じ実行委員の学生や先生に助けていただき、準備、当日と乗り越えることができましたが、一から何かを作り上げることがこんなに大変だとは思っていませんでした。しかし同時に、みんなに楽しんでもらえて、おつかれさまと言われたことで、頑張る事の喜びを味わえました。また、今回の合同球技大会では早く試合が終わった学生のために、実行委員のほうでミニゲームを用意しましたが、そこでは多くの学生の無邪気な笑顔を近くで見ることができ、企画してよかったなと思いました。大きな遅れ、トラブルもなく、天候に恵まれ、球技大会を終えられたことが本当によかったです。1年に1度の本郷キャンパスとの球技大会、来年も盛り上がる事を期待しています。

各種クラブ活動

第49回全国高等専門学校体育大会 平成26年8月18日(月)～8月31日(日)

陸上・男子総合(射水)優勝！ バドミントン・女子団体(射水)準優勝！

担当校の新居浜工業高等専門学校(愛媛県)をはじめ、6つの高専で、13競技が開催されました(ラグビーフットボールは冬期に開催)。

射水キャンパス

陸上

男子総合 優勝

- 男子4×100mR  堀井 直樹(商戦学科2年)
松井 瑞季(電子情報工学科3年)
長田 航樹(電子情報工学科2年)
堀井 雅英(商船学科4年)
- 男子走幅跳  五百崎 太郎(電子情報工学科4年)
- 男子やり投  清水 彬央(商船学科3年)
- 男子円盤投  長井 勁哉(商船学科4年)
- 女子100m  杉本 有希(国際ビジネス学科5年)
- 女子砲丸投  植田 菜々実(国際ビジネス学科3年)
- 男子110mH  五百崎 太郎(電子情報工学科4年)
 堀井 直樹(商船学科2年)
- 男子800m  杉本 陸(商船学科5年)
- 男子砲丸投  井口 佳祐(電子情報工学科5年)
 石附 征也(商船学科4年)
- 男子400m  長田 航樹(電子情報工学科2年)

バドミントン

女子団体 準優勝

- 女子ダブルス  中野 真(商船学科4年)
中野 三恵子(商船学科2年)
- 女子シングルス  中野 真(商船学科4年)

柔道

- 女子  佐藤 優希(電子情報工学科2年)

全国高専大会出場 陸上、バドミントン、男子バスケットボール、柔道、水泳

インターハイ出場 陸上

国体出場(予定) ヨット、陸上



バドミントン部(射水キャンパス)

本郷キャンパス

水泳競技

- 男子200m自由形  佐伯 勇弥(電気制御システム工学科4年)
- 男子200mバタフライ  大代 宗弥(機械システム工学科3年)

全国高専大会出場 水泳、陸上、テニス、剣道、柔道、弓道

第21回全国高等専門学校将棋大会

平成26年8月20日(水)～22日(金)

団体戦 準優勝

- 高島 慧也(機械システム工学科4年)
- 湊 開誠(機械システム工学科3年)
- 野村 俊光(物質化学工学科3年)



将棋部(本郷キャンパス)



水泳部(本郷キャンパス)



陸上部(射水キャンパス)



全国高専プロコンにおいて、 課題・競技部門の2部門で敢闘賞を受賞!!

射水キャンパスのデジタルメディア創作部が、全国高等専門学校第25回プログラミングコンテスト(高専プロコン/開催地:一関高等専門学校)に出場し、課題部門・競技部門の2部門において、見事に敢闘賞を受賞しました。今年度の課題部門のテーマは「防災・減災対策と復興支援」であり、東日本大震災からの復興途中の東北の地を会場とし、IT技術が災害に対しての有効策を表現する非常に高いハードルに挑戦しました。本課題に対し、震災時の劣悪な通信環境を想定した「DTN(delay/disruption-tolerant networking)通信を用いた災害時の安否及び避難所情報収集システム」を提案開発し、審査員からシステムで利用した技術と完成度に対し高い評価が得られました。なお、今回開発したシステムをより実用化に向けてブラッシュアップし、マイクロソフト社主催のImagine Cup日本予選に挑戦していきます。

敢闘賞 課題部門

館山 北斗(電子情報工学科5年)
堺 瑞希(電子情報工学科4年)
前田 広夢(電子情報工学科3年)
柴田 大希(電子情報工学科2年)
藤野 裕時(電子情報工学科1年)

敢闘賞 競技部門

坂本 和哉(電子情報工学科5年)
富岡 稔(電子情報工学科4年)
渡辺 孔英(電子情報工学科2年)

鉄道部企画・製作ジオラマ 「鉄軌道王国とやま展」に出展

富山県主催による「鉄軌道王国とやま展」が2014年9月6日(土)～10月20日(月)鉄道博物館(埼玉県さいたま市)にて開催され、その中で本校鉄道部が企画・製作した大型ジオラマが展示されました。9月6日のオープニングセレモニーでは、鉄道部部長の松井秋一郎君が石井富山県知事と共にテープカットを行いました。大型ジオラマには北陸新幹線・富山県内の鉄道や路面電車が再現され、多くの観客や報道陣が詰めかけました。ジオラマを通して富山県の魅力を全国にアピールできる良い機会となりました。

また、このジオラマは11月9日(日)にボルファートとやまにおいて開催された「鉄軌道王国とやま」シンポジウムでも展示を行いました。



吹奏楽部(本郷)定期演奏会

10月13日(月)、吹奏楽部(本郷)は第25回定期演奏会「No Names Players' Concert 25th」を富山県教育文化会館で開催しました。演奏曲は「行進曲「K点を超えて」」、「ディズニー・プリンセスメドレー」など3部構成11曲、約2時間の演奏会となりました。演奏以外にも、「君をのせて」を用いてそれぞれのパートの音の特徴と、バンドとしてのハーモニーの力強さを聞いていただいたり、第2部ではテーマを「月曜サスペンス」とし、コミカルな劇の進行とともに演奏が行われるなど、大勢のお客様に楽しんでいただけました。

本郷キャンパスbチームがベスト4進出！ 次年度への期待が高まる。

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014東海北陸地区大会」が10月12日(日)に、いしかわ総合スポーツセンター(サブアリーナ)(石川県金沢市)にて開催され、本郷キャンパス aチーム「利長と永姫と蕎麦」としながとえいひめとそば)、bチーム「Penter」(ペンター)」、射水キャンパス Aチーム「回れ！ 寿司ゴーランド」(まわれすしごーらんど)」、Bチーム「台車でGO!」(だいしゃでごー!)」が参加しました。大会では本郷キャンパスbチーム「Penter」(ペンター)がトーナメントを勝ち抜きベスト4になりました。

本郷キャンパス



チーム構成

aチーム 「利長と永姫と蕎麦」(としながとえいひめとそば)	
指導教員	渡辺秀典先生
メンバー	須田 龍星(電気制御システム工学科3年) 佐渡 諭(電気制御システム工学科3年) 高坂 恵太(電気制御システム工学科3年)
bチーム 「Penter」(ペンター)	
指導教員	田尻智紀先生
メンバー	竹澤 大智(電気制御システム工学科2年) 松平 知樹(電気制御システム工学科2年) 黒崎 俊哉(電気制御システム工学科2年)



aチーム
「利長と永姫と蕎麦」(としながとえいひめとそば)
電気制御システム工学科3年
須田 龍星

今年のロボコンで特に力を入れたのは、製作期間の時間管理でした。去年のロボコンではロボットの製作期限を守れずに製作していました。なので、ロボットの完成がとても遅くなりました。今回は反省を活かして、製作期間を短めに取り、ロボットの完成を早めました。そのおかげで、試作機の製作をして実験を行い、問題を改善して本番機の製作を行うことができました。ですが、それでもやはり本番機の完成は遅くなってしまい、練習の時間がとれず、問題点の修正が間に合わずに大会に挑んだため、初戦で敗退してしまいました。来年はさらに時間を有効的に活用して、余裕をもって大会に挑みたいと思います。



bチーム
「Penter」(ペンター)
電気制御システム工学科2年
竹澤 大智

今回、僕はbチームのリーダーを務めました。はじめてロボットの設計や制御を担当することになり、どんなロボットにするか、チームをまとめるにはどうするか、スケジュール通りに進めるにはどうしたらいいのか、ということを考えなければならなかったのですが、それと同時に楽しい1年になりました。地区大会ではベスト4という結果でしたが、試合では一度も勝つことができなかったのが、来年は勝利して全国大会の切符をつかみたいと思います。今年のロボコンへの活動を応援していただきましてありがとうございました。来年もよろしくお願いたします。



アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2014東海北陸地区大会

日時：平成26年10月12日(日) 場所：いしかわ総合スポーツセンター(石川県金沢市)

2014年の競技課題 『出前迅速』

1台の出前ロボットと、注文人・店主・操縦者の3人の高専生が出場し、お盆に高く積み上げられたそばの蒸籠(せいろ)を、3つの障害物(スラローム・角材・傾斜)を乗り越えて運びます。足場の悪い条件で、ロボットがいかに蒸籠を崩すことなく運びさるかがポイントになります。

大会結果

ベスト4：本郷キャンパスbチーム

射水キャンパス

チーム構成

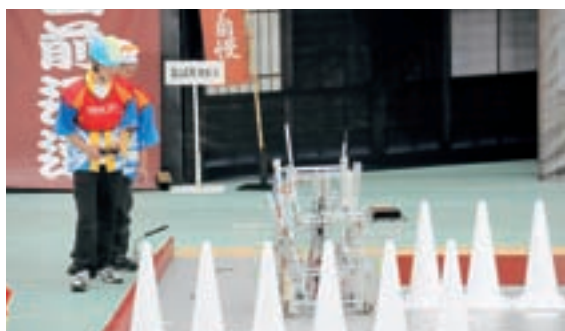
Aチーム「回れ!寿司ゴーランド」(まわれすしごーらんど)	
指導教員	由井 四海先生
メンバー	河合 玲(電子情報工学科3年) 磯部 良太(電子情報工学科3年) 島田 拓海(電子情報工学科1年)
Bチーム「台車でGO!」(だいでごー!)	
指導教員	河合 雅司先生
メンバー	小笠原 舜斗(電子情報工学科2年) 今井 利幸(電子情報工学科2年) 南日 聡太(電子情報工学科2年)



今年のロボコンを 振り返って

Aチーム
「回れ!寿司ゴーランド」(まわれすしごーらんど)
電子情報工学科3年
河合 玲

今回の競技は、3分間でどれだけの数の蒸籠を運べるか、というものでした。もちろん、ただ運ぶだけでなく、運ぶ途中で段差などの障害物が存在しており、それらをどのように越えて蒸籠を運ぶかを競う競技でした。私たちのチームは、障害物の一つである段差を越えるために、車体自体を回転させる機構に挑戦しました。その回転のための機構として、星形エンジンを応用し、ロボット本体を傾げるための足を突き出すようにしました。しかし、思い通りに動かすことができず、結果は1回戦敗退でした。この機構は難易度の高いものでもあり、できればちゃんと動かしてみたいと思っています。今回、あまり良い結果ではありませんでしたが、自分にとってはとても良い経験になったと思います。



ロボコンに参加して

Bチーム
「台車でGO!」(だいでごー!)
電子情報工学科2年
小笠原 舜斗

私たちのチームは、2年生3名、3年生1名、4年生1名の計5名と1年生4名で挑みました。特徴的な形をした4つの大きな木製車輪と、パチンコ玉の重りを使ったお盆水平機構が特徴のロボットです。製作は、トラブルにより当初予定していた機構が載せられなくなったため、大幅な設計変更を余儀なくされたり、乗船実習のため4年生が抜けてしまったりと、苦難の連続でした。それでもギリギリまで諦めずに調整を繰り返し、何とか競技を完遂できるロボットを完成させることができました。残念ながら大会では実力をすべて発揮することができず、1回戦敗退という結果に終わってしまいましたが、今回の経験は私たちの大きな財産となりました。お世話になった教職員の皆様や、技術職員の皆様に心から感謝します。ありがとうございました。



専攻科レポート Advanced Course Report



射水キャンパス

『考え』が『言葉』に、
『言葉』が『行動』に。

専攻科長
遠藤 真

専攻科の学修の多くは特別研究に費やされることになります。特別研究のほとんどの課題には解答も、解答に到達する途(解き方)も用意されておらず、課題を見つけ、設定することから始めなければならない研究もあります。誰も解いたことのない課題を解くために、各自が考え、まとめ、発表し、議論することを、毎日のように、繰り返すことになります。例題の解き方を学び、習熟することが求められた本科とは異なります。専攻科では特別研究をどうして自発的に考え、行動できる人材となることを求めています。

「『考え』が『言葉』になる。その『言葉』が『行動』になる。その『行動』がやがて『習慣』になる。その『習慣』がその人の『人格』になり、その『人格』がその人の『運命(人生)』となる。『考え』が人を創るのよ。」考えることの意義についての英国元首相のサッチャーの言葉です。自分で考え、言葉にまとめ、行動することを厭わず、繰り返すことが意味のある特別研究、専攻科の学修に繋がると考えます。是非、自分で考えることを今日から始めてください。



本郷キャンパス

視野の広い創造的・
複合的な技術者／研究者
を目指す

副専攻科長
岡根 正樹

平成21年、新生富山高専が誕生して5年が経ちました。現在の5年生が1期生で、その学生諸君が進学してくる次年度、本郷キャンパスのエコデザイン工学専攻では改組を予定しています。改組によりコース制がなくなり、より広範囲の専門分野を学ぶことが可能になります。今年度は、現行のカリキュラムで、1年生、2年生が揃う最後の年になります。

夏期休業期間中には、1年生の3名がマレーシアにある企業でインターンシップ(2週間)に参加しました。今年は、タイでのインターンシップも計画され、参加を希望する学生も多かったのですが、運悪くクーデターが起こり、断念を余儀なくされました。学生のうちに、海外での就業を経験できるのは大変有意義なことであり、単なる海外旅行や研修では得られない、貴重な経験ができるものと思います。

エコデザイン工学専攻では、技術者として必要不可欠な、課題の発見から議論、提案、発展、それらを解決して実質化するプロセス、すなわちエンジニアリングデザイン能力の基礎を身につけますが、そこに、海外インターンシップでの経験をプラスし、視野の広い技術者／研究者となり、大いに活躍することを願っています。



専攻科で
身につけたいこと

エコデザイン工学専攻
機械・電気システム工学コース1年
古川 爽一郎

私は専攻科に明確な目的を持って進みました。まず専攻科には、特別研究やPBL型の特別演習があり、より専門的な授業や研究、実践的な経験をすることができます。これらを通して、技術者としての能力を高めたいと考えています。次に、専攻科では学外研究発表や海外インターンシップといった学内に留まらない様々な場面で自分の力量を測る機会がたくさんあります。そういった所で自分自身を見つめ直すことで、自分の弱点を強化していきたいと考えています。自分も夏季休暇中に海外インターンシップへ赴き、日本とはまったく異なる文化圏で働くという貴重な体験をすることができ、とてもいい刺激を受けました。このような経験を活かして、今後の人生、自信を持って前に進める人間になりたいです。



専攻科に入って

エコデザイン工学専攻
機能材料工学コース1年
村上 景子

私が専攻科に入った理由は、5年間学習してきた化学の知識を深め、さらに異なる分野も学習したかったからです。機能材料工学コースでは材料に関する授業があり、自分が今まで知らなかったことを学び、吸収することをとても楽しく感じています。特別研究では卒業研究と合わせると3年間と長期にわたって研究を行うことができるため、じっくりと研究を進めることができます。また、PBL教育を取り入れた特別演習では、自分たちで課題を解決する力が必要になります。これらの特徴を生かし、自分が思い描くような技術者を目指し努力していきたいと思っています。



専攻科での抱負

制御情報システム工学専攻1年
南部 公信

本科5年次の研究はハード系の内容でしたが、専攻科ではソフト系の内容を研究テーマとしています。自分が将来的にやりたい仕事はハード系なのかソフト系なのかを決めるよい機会だと思っています。また、授業では本科で学んだ知識を発展させた内容が多く、より実用的な知識を学ぶことができます。この夏、私は企業インターンに参加し、すでに何百万人もの人が利用しているアプリの開発に携わってきました。そこでの活動は、技術者としてまだまだ力不足を痛感するばかりでした。今回の経験により、授業や研究等で力をつけることで、社会で活躍できる技術者になりたいと強く思うようになりました。2年という本科に比べて短い時間の中でより自分を成長させるために、密度の濃い時間となるよう勉学や研究に励みたいと思います。



専攻科での生活

国際ビジネス学専攻1年
広島 瑠衣

専攻科では今までやったことのなかった授業が増え、新しいことを学んでいます。少人数での授業なので、意見を述べたり、質問したりする機会が多いです。そのため、本科に比べて自分で物事を考えることが多くなりました。特別研究は本科での卒業研究をさらに深めています。連続した研究ですので、中身の濃い研究にしていきたいです。夏休みは北アイルランドへ約1カ月間海外インターンシップに行ってきました。英語の授業や企業訪問を通して、英語能力が向上しただけでなく、異文化を理解することができました。1カ月間、充実した時間を過ごしました。短い専攻科生活ではありますが、1日1日を大切に、さらにたくさんのことを学んでいきたいです。



山口県から富山県へ、 専攻科生活が1年経過して

海事システム工学専攻2年
山本 慧子

私は大島商船高専で5年半の本科を終え、富山高専専攻科に進学しました。富山のことに関しては1年間の大型練習船実習で富山高専の同級生から気候の厳しさや学校の雰囲気などの話は聞いてはいたものの、今までとは生活環境も研究内容も大きく違い、初めは戸惑いの日々を過ごしました。教官や先輩、同級生に支えてもらいながらも「百聞は一見にしかず」ということを、身をもって実感しました。富山高専に来て1年が経過し、大島商船では経験しなかった、研究航海や学外に出た観測、就職先で必要になる操船のスキルも磨くことができ、充実した専攻科生活を送っています。これからも失敗を恐れずここでしかできないことに挑戦していきたいです。

COLUMN

短期留学生レポート

本校と交流協定を結んでいるシンガポールのテマセクポリテクから4人の短期留学生が射水キャンパスにやってきました。シンミンさんとミャオティンさんは国際ビジネス学科で、メルヴィンくん和ロイくんは電子情報学科で学んでいます。配属された研究室の学生たちによる歓迎会が開催されるなど国際交流が進められています。留学期間は9月23日から12月16日です。



学生たちによる短期留学生の歓迎会の様子

県外工場見学・流通見学(4年生)

企業のものづくり

機械システム工学科4年 中川 未結



私たち機械システム工学科は10月14日～17日の4日間、東海地方の企業5社に工場見学に行ってきました。見学させていただいた企業は、大和製罐、ヤマハ発動機、日本車輛製造、ミズノテクニクス、三菱重工です。その中でも私が特に強く印象に残っているのは、ヤマハ発動機です。ヤマハはバイクで有名ですが、それだけではなく、陸・海・空のすべてに関わる様々な製品を製造していました。驚かされたのは日本のプールの90%のシェアをヤマハが占めているそうです。今回見学させていただいたのは、バイクの製造・組立てラインでした。その製造ラインは自動車とは異なり、そのほとんどが手作業でした。完成してラインから出てくるバイクは、すぐさま1台1台エンジンをかけ、時速100kmで走行して動作確認がされていました。今回見学させていただいたすべての会社から、私たちは学校では知り得ない企業のものづくりについて様々なことを学びました。ご協力していただいたみなさまにたいへん感謝しています。この場を借りて御礼申し上げます。

工場見学を通して学んだこと

物質化学工学科4年 草山 伶司



私たち物質化学工学科は10月14日から17日までの4日間、工場見学に行ってきました。見学先は電気化学工業株式会社青海工場、住友化学株式会社千葉工場、昭和電工株式会社川崎事業所、サントリープロダクツ株式会社白州工場の4社でした。電気化学工業では、セメントについて学ばせていただき、その利用分野について知ることができました。住友化学では、石油化学について学びました。まず、東京ドーム50個分の敷地面積という工場の広大さに圧倒されました。また、ペットボトルやラップの製造工程を見せていただいて、私たちの身近にある製品の製造工程を知ることができたので良かったです。昭和電工では、使用済みプラスチックをガス化して再利用するケミカルリサイクルについて学びました。サントリープロダクツでは、ウイスキー及び天然水の製造工程について学びました。ウイスキー製造工場内は、ウイスキー特有の香りが広がり、樽の貯蔵場所を見る貴重な体験ができて良かったです。今回、さまざまな分野の事業所を見せていただいたことで就職の選択肢を増やすことができました。また、自身の将来と向き合う良い機会になったと思います。

県外工場見学を終えて

電気制御システム工学科4年 作内 祐哉



電気制御システム制御工学科4年は、東京方面の工場見学でした。4日間の日程の中で民間企業の工場見学は、日本HP昭島工場とホンダ車のエンジン部品を作る本田金属技術の川越工場でした。日本HP昭島工場は日本でも数少ないPC製造工場で、随所にHP独自の方式が採用されていました。他社よりきめ細かな納期管理の下、顧客の要望に合わせて1台1台丁寧にくみ上げられていました。それらの作業は分業されており、他の部署と連携を取りながらもそれぞれが強い責任を持って仕事に臨む必要があると感じました。本田金属技術では、F1マシンでも使われたピストンなどを製造した工場を見学し、数々の製造機械が動作する中で一つひとつ完成した製品に不良等がないか検査している様子は、まさに自分たちが目指す技術者の姿と思いました。そのような現役の方々の様子を見学できたのは技術者の卵として非常に貴重な体験となりました。

各学科の見学先(見学順)

機械システム工学科

大和製罐(株)清水工場、ヤマハ発動機(株)、日本車輛製造(株)豊川製作所、ミズノテクニクス(株)、三菱重工(株)名古屋航空宇宙システム製作所飛鳥工場他 ※台風の影響により(株)新来島豊橋造船は見学中止

電気制御システム工学科

JALスカイミュージアム、山梨県立リニア見学センター、日本HP(株)昭島工場、本田金属技術(株)、国立科学博物館

物質化学工学科

電気化学工業(株)青海工場、住友化学(株)千葉工場、昭和電工(株)川崎事業所、国立科学博物館、サントリープロダクツ(株)サントリー白州蒸溜所、天然水南アルプス白州工場

電子情報工学科

メンターグラフィックスジャパン(株)、(株)NTTデータ、スカパー横浜衛星管制センター、JAXA、(株)アルファシステムズ、日産自動車(株)追浜工場

国際ビジネス学科

皇居・丸の内、東京税関、外務省、全日本空輸(株)、東京スカイツリー、東京ソラマチ、浅草

工場見学で得たこと

電子情報工学科4年 大島 佑太



私たち電子情報工学科は、10月14日から17日まで、工場見学に行ってきました。この4日間に東京・横浜方面の企業であるメンターグラフィックスジャパン、NTTデータ、スカパー横浜衛星管制センター、JAXA、株式会社アルファシステムズ、日産自動車株式会社追浜工場を見学しました。それぞれの企業で最先端の技術を紹介していただいたり、実際の職場の様子を見学させていただいたり、将来を考え始めている私たちにとってとても役立つ体験ができました。また、富山高専から就職した方々からもお話を伺って、就職活動の様子や私たちが今やっておくべきことを教えていただき、良い刺激になりました。私たちはこれから就職活動や編入学試験を控えています。この工場見学で得た経験をもとに、自分の将来をじっくり考えていきたいと思っています。

流通見学を振り返って

国際ビジネス学科4年 松田 梨紗



私たち国際ビジネス学科4年生は、今回の企業見学で、外務省、東京税関、全日空(ANA)を訪問させていただきました。各企業、官庁の業務内容を知り、就職活動に対する意識を高めるよい機会となりました。宿泊場所のウェスティンホテルと京王プラザホテルではホテル研修が行われ、ホテル業界の仕組みや魅力を知るとともに、社会人として働くことの心構えや自覚を持つことの大切さを学びました。

また、訪問先の企業で実際に働いておられる富山高専の卒業生の方々から、就職活動に向けてアドバイスをいただきました。今後の進路選択に生かせる貴重な経験になったと思います。企業見学はもちろん、友人と過ごした東京での5日間は高専生活での良い思い出となりました。

物質化学工学科



電子情報工学科



電気制御システム工学科



国際ビジネス学科



機械システム工学科



県内工場見学(3年生)

各学科 の行先

本郷キャンパス

機械システム工学科：(株)高松メッキ、YKK(株)黒部事業所
電機制御システム工学科：北陸電力(株) 志賀原子力発電所、志賀太陽光発電所、福浦風力発電所
物質化学工学科：日東メディック(株)、
アステラスファーマテック(株)高岡工場

射水キャンパス

電子情報工学科：三晶EMC(株)東富山工場、
北陸コンピュータサービス(株)
国際ビジネス学科：(株)北陸銀行本店、日本総合リサイクル(株)
商船学科：(株)魚津製鋼所、バルチラジャパン(株)富山工場



県内工場見学を終えて

物質化学工学科3年 碓井 直人

私たち物質化学工学科3年生は日東メディックとアステラスファーマテック高岡工場を見学しました。日東メディックは主に点眼薬を、アステラス高岡は注射剤を製造しています。両社とも医薬品を製造する会社なので、徹底した衛生管理が行われており、その対象は薬自体に留まらずそれらを製造する際に使用する水、薬を入れる容器、製造している空間にまで及びます。さらに作業する人たちは手袋、防護服を二重に着るなど一切肌を露出していませんでした。私はものを作ることに一切の妥協を許さないプロの仕事を目の当たりにして、自分もこのようなプロになれるかと不安に思いつつも同時に将来になりたい姿を現実味を帯びた形で見定めることができました。今回の工場見学は自分が目指す目標を確認し、前に進む意思を持たせてくれたとても有意義なものになりました。

工場見学を終えて

国際ビジネス学科3年 伊藤 大輔

私たちは北陸銀行本店と日本総合リサイクルを見学しました。まず北陸銀行に行きました。最近では銀行を舞台にしたドラマもあり、興味がありませんでした。長い歴史を持つ北陸銀行は厳格な雰囲気でした。社会で銀行が大きな役割を果たしていることや銀行業務が忙しく大変なことがわかりました。また本校卒業生の方の貴重な話を聞くことができました。次に日本総合リサイクルに行きました。厳格な北陸銀行の雰囲気とは対照的に寛大な雰囲気でした。職場の人間関係が良いことが非常によくわかるような説明でした。企業選びは給与や知名度だけでなく人間関係も大切な要素だと思いました。今回の見学が自分の将来を考える良いきっかけになりました。これを機に社会に対する視野をさらに広げたいです。

研修旅行(2年生)



2年生研修旅行を終えて

機械システム工学科2年 武井 一広

僕たち2年生は、10月17日に岐阜県高山市へ研修旅行に行きました。県外から高山高専に来ている僕にとっては、初めての高山市で「研修旅行を楽しもう!」と思っていましたが、今まで富山県に住んでいるクラスメイトは、「中学校のときに行った」等、不満そうでした。片道約2時間の道のりでしたが、バスの中では友人と話をして過ごし、あっという間に到着しました。研修の目的は、歴史的な街並みや全国で唯一残る代官所の「高山陣屋」を見学するというものでした。高山陣屋は、江戸幕府が飛騨国を直轄領として管理するために設置した全国にただ一つ現存する郡代役所だそうです。建物を見ると、玄関の間を飾る10万石格を示す二間半の大床、巨大な蔵のくれ葺き屋根、さらに入口にある御門提灯など当時の代官所の大きさに驚きました。御門の前で、記念撮影をして少し代官気分を味わいました。そして、なんとも楽しかった飛騨牛、高山ラーメン。この2つはものすごくおいしかったです。特に飛騨牛のトロにぎりは口に入れた瞬間溶けてしまい、しばしば豪華気分になりました。古い街並みの中で食べるとより風情が出るものだと感じました。研修に行く前は不満そうだった班のメンバーも、最後は楽しそうにしていました。またいつか今回のメンバーで旅がしたいと思いました。

飛騨高山を感じて

電子情報工学科2年 村島 優斗

私たちは、飛騨高山研修に行きました。今回は班別活動で、行く場所なども自分たちで決めることができたこともあり、それぞれが楽しく充実した時間を過ごすことができました。この研修の中でいろいろな食べ物や高山陣屋といった名所をまわりましたが、一番感動したのは、高山の街そのものの雰囲気です。川に架かる橋からの景色や、街中の建物など、一つひとつに古い街並みの風情あるたたずまいの美しさを感じました。利便性を求める中に、日本の昔ながらの伝統を守るという人々の強い気持ちを感じました。仲間たちと楽しみながら美しい街並みにふれることができたこの研修はよい思い出になりました。

Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

「高専女子フォーラム in 東海北陸」を開催



富山高専が代表幹事校となり、「2014年度高専女子フォーラム in 東海北陸」が、平成26年8月25日(月)に、富山国際会議場において開催されました。このフォーラムは、国立高等専門学校機構主催で、高専女子学生の實力を社会に向け発信し、科学技術分野における女性技術者の活躍、男女共同参画の取り組みについて企業・高専関係者が意見交換し、併せて女子中学生・保護者への情報提供を行うことを目的として、全国8地区で開催することとしています。当日は企業の方々をはじめとして、中学生・保護者、高専女子学生、高専教職員など400名近い参加者があり、たいへん盛会となりました。

専攻科生が第7回ビジネスプラン コンテストで最優秀賞を受賞

10月22日(水)に富山大学黒田講堂において「第7回ビジネスプランコンテスト」学生部門の審査が行われ、一次審査通過者の中から、専攻科制御情報システム工学専攻2年の須藤洸基君が最優秀賞を受賞しました。

とやま科学オリンピック2014で 物質化学工学科の学生が 銀賞・銅賞を受賞

8月12日におこなわれた、とやま科学オリンピックにおいて、以下の学生5名が銀賞・銅賞を受賞しました。

化学分野 銀賞:

北崎 裕己(物質化学工学科2年) 武藤 諒(物質化学工学科1年)
江尻 結衣(物質化学工学科2年) 松田 涼利(物質化学工学科1年)

二宮 冬(物質化学工学科1年)

生物分野 銅賞:

第7回鯖江市地域活性化 プランコンテストに出場

電子情報工学科と国際ビジネス学科の3人組(電子情報工学科4年・五百崎太郎、電子情報工学科4年・太田健斗、国際ビジネス学科4年・邑井聖弥)が、ハイレベルの選考を勝ち抜き、第7回鯖江市地域活性化プランコンテストに出場しました。本コンテストは総務省が後援して、地元の学生で組織された学生団体withと行政、商工会、商店街など地域の人たちで組織された実行委員会が連携して運営され、自治体が抱えている問題を解決するために、実際に実現できるプランを考えるものです。射水キャンパスの文理融合チームは「鯖江市夫婦しあわせ講座開講」プランを提案しました。惜しくも入選は逃しましたが、審査員や市民の方々からも高い評価をいただきました。



射水まちづくり大学で 若潮丸の体験乗船



射水市と射水市内に所在する高等教育機関の官学協働で公開講座を実施する射水まちづくり大学が今年度も開催されました。12回の講義のうち4回目が本校の担当で、8月2日(土)に本校臨海実習場にて行われました。

この講座では、受講生の17名の射水市民が参加し、本校所有の練習船若潮丸に体験乗船し、前半は船内の教室で講義を聴講し、後半は船内見学を行いました。前半の講義では、「中古車貿易から見る世界とのつながり」をテーマとした国際ビジネス学科の岡本勝規准教授の話に、活発な質疑応答がありました。

石原外美校長にSERCからの 称号が授与され、 SERCにIshihara Awardが設立

石原外美校長に、交流提携校である英国北アイルランドSERC(South Eastern Regional College)から、Visiting Principal Lecturerの称号が授与されました。さらに、Ishihara Awardが設立され、SERCの工学系の最も優秀な卒業生に授与されました。



西田副校長が 日本実験力学会技術賞を受賞

西田均副校長(電気制御システム工学科教授、専門分野:流体工学)は、日本実験力学会総会において、「磁気混合流体を用いた円管内面マイクロ加工の開発研究」に対して、学会技術賞を受賞しました。



浦技術専門職員が理事長賞を受賞



10月17日、東京都千代田区にあるTKP竹橋において、平成26年度国立高等専門学校機構職員表彰の表彰式が行われ、本校射水キャンパスの浦恵里夏技術専門職員が、安全教育の強化や、海事系及び電気電子系分野の横断的な教育支援、学習教材の開発等が高く評価され、理事長賞を受賞しました。

平成27年度入試情報

学科生募集

中学校を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者などを対象として、次の6学科に平成27年4月から学生を受け入れます。入学者の選抜は、推薦によるものと学力検査によるものの2つの方法で行われます。なお、推薦選抜の募集人員は各学科とも入学定員の50%以内とします。

募集人数

本郷キャンパス

機械システム工学科 入学定員 40名
電気制御システム工学科 入学定員 40名
物質化学工学科 入学定員 40名

射水キャンパス

電子情報工学科 入学定員 40名
国際ビジネス学科 入学定員 40名
商船学科 入学定員 40名
航海コース(20名)・機関コース(20名)

選抜方法

推薦による 選抜

平成27年1月18日(日)
面接 定員の50%以内

学力検査による 選抜

平成27年2月15日(日)
英語、数学、国語、理科、社会

なお、入試関係情報の詳細については、学生募集要項または下記でご確認ください。

申込・
お問い合わせ

本校HP入試情報

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>

本郷キャンパス学務課 入学試験担当

電話(076)493-5498

射水キャンパス学生課 入学試験担当

電話(0766)86-5145

学生相談室からのお知らせ

Information

本郷キャンパス

学生相談室本郷キャンパス室長 高橋 勝彦

射水キャンパス

学生相談室射水キャンパス室長 早勢 欣和

この文章に目がいった君へ。戸惑い、不満や悩みがありますか？
「悩みがない」、「悩みはあるけど人に話すつもりがない」という人がほとんどかもしれません。が、これを読んでいる君は、どうですか？ 高専での学生生活は、大人になるための最も大切な準備期間です。その学生生活を送るなかで、勉学、進学・就職などの問題、友人関係や家庭での関係など、さまざまな問題に直面し、戸惑い、悩んでいる人は多いでしょう。「学生相談室」は、悩みの相談をするところですが、「おしゃべり」するところでもあります。ものすごく小さな戸惑いや不満でいいのです。楽しいことでもいいのです。「こんな話したら笑われてしまうかな…」「こんなことは自分だけなのかな…」などと思わずに、気軽に訪ねてみてください。おしゃべりすれば、きっと気が楽になります。「学生相談室」には、月曜日から金曜日の15時30分～17時まで、話を聞いてくれる相手があります。火曜日と水曜日は専門のカウンセラーの方もいます。また、学生に関する保護者の方の相談もお受けしています。気軽に相談室にご連絡ください。

相談を希望される場合の連絡先
Tel 076-493-0533(保健室)
メール gaku-soudan@nc-toyama.ac.jp

「学生相談室」は、学生たちが生き生きと充実した学生生活を本校で送れるようサポートすることを目的に設置されています。高専生活は5年間、商船学科においては5年半という長い期間になりますが、思春期といわれるこの時期では、誰も多く多くの悩みを抱え、自分と向き合いながら社会に巣立つ準備をしていきます。学校生活では、学業はもちろんですが、部活動や友人関係、さらには進路など様々な悩みや迷いに遭遇することがあります。これらの問題を一人で抱え込むことなく、また何となくでもよいので、相談室を気軽に訪ねてほしいと思っています。「学生相談室」は、教員から選出された室長1名、学生相談員4名および看護師で構成されています。そして、週2回、臨床心理士の資格を持つカウンセラーも来校しています。なお、本校では学生に関する保護者の方の相談も受けています。

相談を希望される場合の連絡先
Tel 0766-86-5140(保健室)
メール soudan@nc-toyama.ac.jp(相談室長と看護師宛)

Editor's room 編集後記



の高専通信12号が出るころには、クリスマスの音楽が流れていることでしょう。今年は高専祭が5月に開催されたので、比較的静かな秋だったように思います。その分、学生たちは学業や部活動に専念できたのではないのでしょうか。また、合同球技大会や各学年の校外学習も、いつもよりのんびりと楽しめたのではないかと思います。教室から飛び出して新たな体験をする学生たちがみせる表情を誌

面からお届けできたでしょうか。

また今回の高専通信では、全国高専大会やロゴコン地区大会の結果のほかに、専攻科の学生の生活についてもレポートしました。彼らの成果や活動の様子がお伝えできれば幸いです。

高専通信12号編集長 津森 展子

問い合わせ先

本郷キャンパス : 〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402
射水キャンパス : 〒933-0293 富山県射水市海老江線合1番2 TEL 0766-86-5112

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>